

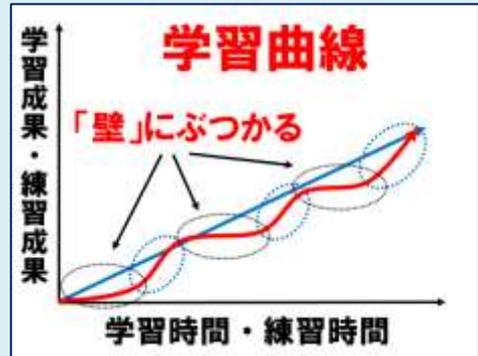


三重なす塔

2学期始業式 校長講話より「粘りの二学期」

二学期は「粘りの二学期」だと考えています。長い学期であるからこそ、どれだけ日々の当たり前のことをしっかりとこなせるか、そして自分の目標に向かってどれだけ粘り強く取り組めるかにかかっています。今日は粘り強く取り組むことに関わってのお話と、勉強の仕方についての二つのお話をします。

まず一つ目の話です。皆さんは「学習曲線」という言葉を知っていますか？学習曲線とは、横軸に学習時間や練習時間、縦軸にその成果をとったグラフです。頑張れば頑張るほど成果が上がる、つまり、練習すればするほどうまくなり、勉強すればするほど点数が上がると考えるかもしれませんが、もし、いつもやった分だけ成果が上がるなら、頑張ることは楽しく、やりがいを感じられるでしょう。しかし、実際の学習曲線は、まるで階段のような形をしています。つまり、最初は努力が結果に結びつきやすいのですが、ある時期には、どんなに頑張っても成長を感じられない「平らな部分」が現れます。この「平らな部分」に直面すると、多くの人が自分の限界だと感じ、努力が無駄だと思ってしまうことがあります。しかし、実際にはこの時期こそが大切です。この「平らな部分」で諦めずに努力を続けることで、やがて成果が再び現れ、次の段階へと成長することができると言われています。皆さんも勉強や部活動で、どんなに努力しても成果が見えない時期があると思います。それが「壁にぶつかる」時期です。でも、その時こそが成長のチャンスです。粘り強く続けることで、壁を乗り越え、さらに成長することができるといえます。例えば、試験前に苦勞していた問題が急に解けるようになった経験があるかもしれません。それは、その壁を乗り越えた瞬間です。



次に二つ目のお話です。学習の仕方について「ラーニングピラミッド」と呼ばれる図で、学習方法と学んだことの定着率を示したものを使ってお話します。例えば、講義を聴く学習の定着率は5%、読書の定着率は10%、写真や映像を見て学ぶ学習は20%です。これに対して、グループで討論する学習の定着率は50%、自ら体験し問題を解く学習は75%、そして他の人に教える学習は90%となっています。定着率の低い学習方法は、聞く、読む、見るといった、外から入ってくる情報を頭の中に入力する、いわゆるインプットの学習です。逆に、定着率の高い学習方法は、学んだことをもとに発表する、実際に問題を解く、人に教えるといった、学んだことを頭から出力する、アウトプットの学習です。特に、学んだことを人に教えることは、最も高い定着率を誇ります。説明できるということは、学んだことがしっかりと理解されていることの証であり、説明することでより深く自分のものにできるのです。ただし、ここで気をつけてほしいのは、インプットの学習が無駄だというわけではないことです。インプットの学習は、新しい知識を得るための基本です。聴いて学び、読んで学び、見て学ぶことは、学びの基礎となる重要なステップです。

大切なのは、こうしたインプットの学習でしっかりと知識を得た後、その知識をアウトプットすることで、学んだことが確実に身につくのです。例えば、授業で先生の説明や仲間の考えをしっかりと聴き、自分の考えを発表したり、説明してみる。また、授業の終わりに「今日、自分は何を学んだのか」を説明したり、書いてみる。学んだことをより深く定着させる効果的な方法です。また、セルフスタディでは、その日学んだ内容の復習問題を解いたり、さらに難しい問題をやってみる、または授業で学んだことを使って発表する準備をするなど、どんどんチャレンジしてほしいです。



二学期は「粘りの二学期」です。学習曲線を思い出し、決してあきらめず、努力を続けてください。そして、学んだことをしっかりと身につけるために、今日のお話を参考にして、学習方法を工夫してみてください。

2学期のスタートにあたり、生徒代表の作文発表もありました。

「2学期に頑張りたいことは3つあります。1つ目は文化祭での村松西地区の神楽の発表です。2つ目は部活です。僕は吹奏楽部に所属していますが、文化祭の演奏を最後に3年生の先輩が引退してしまいます。先輩たちが安心して引退できるように、自分のパートをよく練習し、先生の話も集中してよく聞き自分の技術に反映できるように頑張りたいです。また演奏以外の行動面でも返事をしっかりして、積極的に活動していきたいです。3つ目はテストです。この3つを頑張りたいです。」素敵な発表でした。粘り強く目標に向かって頑張ってください。



吹奏楽 県大会の報告

銅賞受賞しました!

8月7日吹奏楽部は県大会に出場しました。大きな舞台上堂々と発表する姿と、先生の指揮に集中して、全員の呼吸がぴったり合った素晴らしい演奏ができました。そして、演奏後の生徒達は、笑顔がとても素敵でやり切った達成感にあふれていました。



サイエンスアカデミーHOKARI

3年生の有志4名が、6月から放課後等に集まって「持続可能な社会の実現～バイオエタノールの製造」について学び、サツマイモや紙からエタノールを作る実験をし、その研究をまとめました。今年は光明理化学工業(株)に協力していただきました。さすが3年生!!と感じさせる研究です。こまゆみ祭でも発表します。



資源物回収ありがとうございました。

8月24日には生徒会主催の「資源物回収」が行われました。本当に多くの方のご協力のおかげで今年もたくさんのアルミを集めることができました。今後の生徒会活動の資金としてどう使えばいいかをしっかりと考え使わせていただきます。ありがとうございました。



アイリスセミナープラスが行われました!

1学期のアイリスセミナーで身につけた力を使って、さらに生徒主体で活動を行いました。こまゆみ祭で各講座の活動内容で発表します。また、はつらつネットワーク通信でも特集をしていただく予定です。



こまゆみ祭テーマ 「十人十色」

今年も一般公開します。お時間があればぜひ見に来て下さい。

1日目
8:40~13:10
2日目
8:45~10:10

◇◇◇◇9月の予定◇◇◇◇

2日(月) 防災学習の日
4日(水) 教育課程研究協議会のため休み 2年生のみ登校日
14日(土) PTA 親子作業 親子レク
26日(木) こまゆみ祭前日準備 27日(金) 28日(土) こまゆみ祭

★職員研修から★

夏休みには職員もいろいろな研修を行わせていただきました。その中でも、8月2日に行われた保育園研修は、青木村の保小中一貫教育を知る大切な研修の時間となりました。「一人ひとりを大切に、そして、村で育てる」この青木村の教育を大切にしたいと強く思いました。また、同じ日の午後は小中合同の学校保健委員会があり、検診結果より学校医の櫻井先生も参加していただき身体の成長について考える時間となりました。

職員研修として、1学期末生徒のみなさんに協力してもらった授業アンケートの結果をもとに、授業づくり研修という授業改善に向けた職員研修会をしました。その中で、職員の2学期の重点目標として「対話を大切にしていこう」と確認しました。

非違行為防止研修[職員研修] 職員による非違行為防止に向け、計画的に職員研修会を行っています。1学期の職員研修では、次の内容で研修を行いました。今後も、職員の非違行為防止に努めてまいります。

4月 万が一事故を起こしてしまったときの対応について・非違行為をしないことの誓い①・アレルギー対応研修「いざって時のために」

5月 いきいきとした生徒の姿を見るために～SSWのお仕事～・交通法規を守る」青木村駐在所 巡査部長 佐土さんの話

6月 熱中症について ～熱中症の発症事例から学ぶ～ 7月 人との関わり方(グループワーク)～自殺予防に関する職員研修報告より

7月 ヒヤリハットの事例から考えよう 8月 非違行為をしないことの誓い②

